

## 平成27年度 生物多様性保全に関する主な新規実施施策

### I 市民との協働によるアカミミガメ防除事業

#### 1. 防除実施日

平成27年5月29日（金）～6月1日（月）

#### 2. 防除実施場所

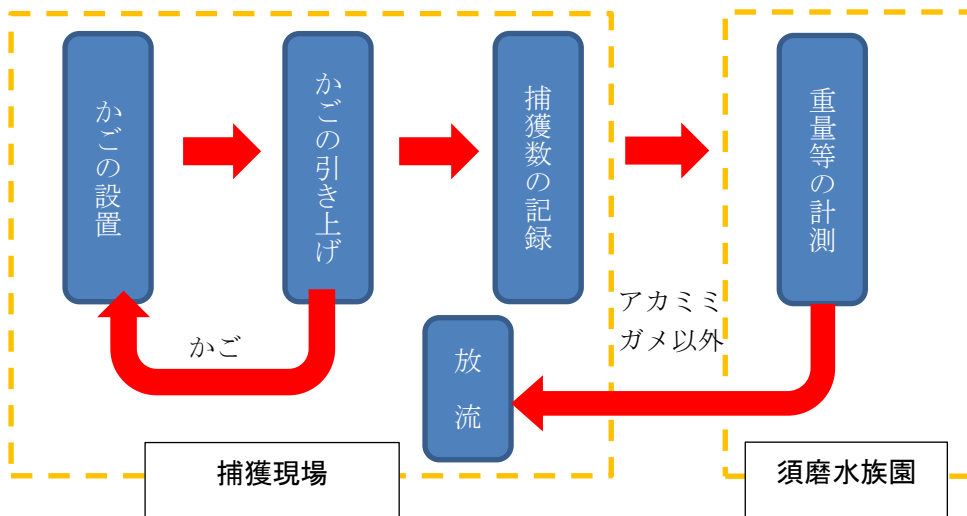
- (1) 明石川 和田大橋付近（西区押部谷町和田）
- (2) 中津大池（西区平野町中津）

#### 3. 防除実施者

市民団体（任意団体）2団体と市との協働により防除を実施

#### 4. 実施スキーム

- (1) カメ捕獲用のかごを現地に仕掛ける。
- (2) 翌日かごを引き上げ、捕獲したカメ等の種類ごとに捕獲数を記録する。かごは再度設置する。  
（3回繰り返す）
- (3) 捕獲したすべてのカメは須磨水族園に搬入し、個体の大きさ、重量等を計測する。
- (4) 計測終了後、アカミミガメ以外のカメ等は、捕獲した場所で放流する。



#### 5. 考察事項

- (1) 昨年度捕獲後のアカミミガメの生息密度及び種別割合の変化
- (2) 昨年度捕獲時との個体特性（体長、重量等）の比較
- (3) 今年度、捕獲前後の生息密度の変化
- (4) 市民と協働で実施する場合の留意点の整理

## II 神戸市生物多様性保全活動補助事業

### 1. 目的

生物多様性 神戸プラン 2020 に基づき、生物多様性保全活動に対する市民理解を深め、保全活動への市民参加を促進するため、市内で生物多様性保全活動を行う団体の活動に関する経費について、補助を行う。

### 2. 交付対象

以下の条件をすべて満たす団体とする。

- (1) 営利を目的とした団体でないこと。
- (2) 活動実績が3年を経過していること。
- (3) この補助事業に係る活動に対して、他の補助金等の交付を受けていないこと。
- (4) 暴力団でないこと及び団体の会員に暴力団員が含まれていないこと。
- (5) 活動の実施につき、活動実施場所の地権者及び管理者等に対して説明を行い、その理解を得ていること。

### 3. 対象活動

申請者自らが企画・立案し、神戸市内で実践される生物多様性の保全の推進に寄与する以下の活動

- (1) 「神戸版レッドデータ 2010」に記載のブラックリスト掲載種のうち、外来動物及び外来植物の防除活動（ただし、防除後の処分方法等が事業計画により明らかである事業に限る。）
- (2) 「神戸版レッドデータ 2010」に記載の希少種のうち、Cランク以上の野生動植物等の保全・保護活動

### 4. 補助金額

1団体あたり 10万円以下

### 5. 補助対象とする経費

上記「2. 対象活動」を実施するために必要な以下の経費

- ・備品、消耗品費（捕獲機材、薬剤等）
- ・賃借料（会場、必要機器等）
- ・必要機器等の燃料費
- ・保険料
- ・講師等への謝礼（ただし、一人あたり 5,000円/日以下とする。）
- ・印刷費、郵送費（ただし、会報等を除く。）
- ・防除した外来生物等の処分に要する費用
- ・その他活動に必要な費用であり、市長が認めるもの

### 6. 補助対象とする活動期間

平成 27 年 7 月 20 日（交付決定後）～平成 28 年 2 月 28 日までに実施した活動

### 7. スケジュール（予定）

時期	内容
平成 27 年 6 月 8 日	資料提供、募集開始
平成 27 年 6 月 30 日	募集終了
平成 27 年 7 月 15 日 PM	申請者からの申請内容に関するヒアリング、審査委員からの意見聴取
平成 27 年 7 月 20 日頃	交付決定

## 生物多様性保全に係る事業の平成26年度の実施状況と平成27年度の実施計画

### 目標①: 六甲山などの森をまもり育て、健全な森の力で生きものを育み、災害を防ぎます。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成26年度実績	平成27年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・六甲山における市民・事業者等と協働した森林保全・育成の推進	○	○	○	○	建設局防災部防災課・公園部森林整備事務所	人工林整備、二次林整備	人工林整備、二次林整備	★(**)
・生物多様性保全対策指針の策定・運用	○		○		環境局環境保全部自然環境共生課	関連施策等の情報収集	マニュアル策定	
・環境影響評価の運用・拡充		○	○		環境局環境保全部自然環境共生課	審査会開催	審査会開催	
・みどりの聖域づくり		○			建設局公園部計画課	指定区域変更案策定業務	指定区域変更案策定業務	
・六甲山系グリーンベルト整備事業		○			建設局防災部防災課	市民・企業による森づくり、森づくり講習会開催	市民・企業による森づくり、森づくり講習会開催	
・水源保全用地の取得		○			水道局経営企画部経営計画課	-	-	
・森林整備計画の作成・見直し		○			産業振興局農政部計画課	作成・見直し継続	作成・見直し継続	
・植林、里山整備に対する補助		○			産業振興局農政部計画課	①里山防災林整備事業、里山森づくり地域支援事業、②住民参加型森林整備事業、住民参加型里山林再生事業、③森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業	①里山防災林整備事業、②住民参加型森林整備事業、住民参加型里山林再生事業、③森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業	
・森林法に基づく林地開発規制		○			産業振興局農政部計画課	伐採届受付、林発許可受付等	伐採届受付、林発許可受付等	
・六甲山・摩耶山エコツアーリズム		○			産業振興局観光コンベンション課	案内所運営支援、自然散策・体験等開催支援	案内所運営支援、自然散策・体験等開催支援	
・エコツアーリズムの教育旅行誘致・滞在型観光振興、民間参画・プログラム充実		○			産業振興局観光コンベンション課	案内所運営支援、自然散策・体験等開催支援	案内所運営支援、自然散策・体験等開催支援	

### 目標②: 清らかで潤いのある水環境をまもり育てるとともに、生きものの移動にも配慮して森・里・川・海の水循環を保全・再生します。

事業	重点	着手・拡充時期(*)			所管	平成26年度実績	平成27年度予定	備考
	事業	継続	短期	中長期				
・健全な水環境・水循環の確保に関する施策の推進(生物多様性保全の観点からのモニタリングの拡充など)	○	○	○		水道局経営企画部経営計画課、建設局下水道部計画課、環境局環境保全部環境保全指導課	下水の高度処理化、下水の有効利用、河川水生生物調査、海域水生生物調査、藻類移植経過観察	下水の高度処理化、下水の有効利用、河川水生生物調査、海域水生生物調査、藻類移植経過観察	
・河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境、並びに多様な河川風景を保全あるいは創出する多自然川づくりの改修・補修時等に合わせた推進		○	○	○	建設局防災部河川課	多自然川づくりの推進	多自然川づくりの推進	
・水産資源保護・育成等のための漁礁設置や海底耕耘などの取り組み支援		○			産業振興局農政部農水産課	海底耕耘実施(3回)	海底耕耘実施(3回)	
・臨海部の親水性の向上と環境創造型護岸による生物生息空間の創造		○			みなと総局技術部計画課・空港事業室推進課	環境創造型護岸の経過観察	環境創造型護岸の経過観察	
・須磨・舞子海岸及び海岸林(松林)の保全		○			みなと総局みなと振興部経営課、建設局公園部管理課	-	-	
・つくり育てる漁業の推進		○			産業振興局農政部農水産課	ヒラメ、オニオコゼ等の種苗生産・放流、アサリの栽培技術の確立	ヒラメ、オニオコゼ等の種苗生産・放流、アサリの栽培技術の確立	

目標③:人と共に歩んできた多様ないのちを育む田園環境をまもり、未来へつなげていきます。

事業	重点 事業	着手・拡充時期(*)			所管	平成26年度実績	平成27年度予定	備考
		継続	短期	中長期				
・冬期湛水水田による生物多様性の向上	○		○		環境局環境保全部自然環境共生課、産業振興局農政部計画課	研究会・生物調査等	研究会・生物調査等	
・不耕作地の湿地環境としての利用	○		○		環境局環境保全部自然環境共生課、産業振興局農政部計画課	生物調査・観察会等	生物調査・観察会等	
・環境保全型農業と地産地消の推進	○	○	○		産業振興局農政部計画課・農水産課	こうべ給食畑事業推進事業、環境保全型農業直接支援対策	こうべ給食畑事業推進事業、環境保全型農業直接支援対策	★(**)
・人と自然との共生ゾーンの推進		○			産業振興局農政部計画課	審査会・専門部会の開催、農村景観活動の助成等、里づくり事業の推進	審査会・専門部会の開催、農村景観活動の助成等、里づくり事業の推進	
・集落周辺の自然緑地の保全・活用		○			産業振興局農政部計画課			
・野生鳥獣被害対策の推進		○			産業振興局農政部計画課	野生鳥獣被害対策・外来生物被害対策の推進	野生鳥獣被害対策・外来生物被害対策の推進	対象は主にイノシシ、アライグマ

目標④:水と緑のネットワークが形成され、街(市街地)のなかでもいたるところで神戸の生きものが見られます。

事業	重点 事業	着手・拡充時期(*)			所管	平成26年度実績	平成27年度予定	備考
		継続	短期	中長期				
・地球温暖化対策と生物多様性保全に貢献する屋上・壁面緑化(緑のカーテンプロジェクト)	○	○	○		環境局環境保全部地球環境課、長田区まちづくり推進部まちづくり課、教育委員会事務局総務部学校整備課	種子・ネットの配布、植栽支援	種子・ネットの配布、植栽支援	★(**)
・地球温暖化対策と生物多様性保全に貢献する屋上・壁面緑化(AQUALネッサンス)	○	○	○		水道局経営企画部経営計画課	市民啓発、ミスト散布等	市民啓発、ミスト散布等	
・生物多様性に配慮した緑化の推進(樹林の階層構造、多様性のある樹種、野鳥の餌となる実のなる植物、昆虫の吸蜜源や食草・食樹となる樹種、循環が機能する基盤など)		○			建設局公園部計画課・緑地課・管理課	-	-	
・市街地の民有緑地の保全・育成、空閑地の飾花・緑化、山麓部での空き地の活用、ふれあい市民緑地制度の活用など緑地の創出		○			建設局公園部計画課・緑地課	ふれあい市民緑地の認定	ふれあい市民緑地の認定	
・街のシンボルとなる街路樹の育成		○			建設局公園部緑地課・管理課	-	-	
・市街地に生きもの呼び込む水と緑のネットワークの形成(河川・街路・公園・ビオトープなどの連携)		○	○		建設局公園部計画課・緑地課・管理課	都賀川公園の整備	都賀川公園の整備	
・生物生息・生育空間としての都市公園の整備		○			建設局公園部計画課・緑地課	-	-	
※ 既成市街地における緑化施策の検討					住宅都市局計画部計画課	モデル地区でのルール作り等	モデル地区でのルール作り等	

目標⑤:すべての市民や子どもたちが神戸の自然や地球の生きものとのつながりを学び、行動し、自然を育む知恵と恵みへの感謝の心を未来に引き継ぎます。

事業	重点事業	着手・拡充時期(*)			所管	平成26年度実績	平成27年度予定	備考
		継続	短期	中長期				
・学校ピオトープ活用推進事業(学校、地域、企業、行政の協働により環境学習や保全活動を推進)	○		○		環境局環境保全部地球環境課	アドバイザー派遣、報告交流会の開催	専門家派遣	
・生物多様性保全シンボル拠点の整備(しあわせの森、国営明石海峡公園)	○		○	○	建設局公園部緑地課	園路整備、歩道橋整備、管理運営計画の試行	給水設備の整備、歩道橋整備、管理運営計画の試行	
・エコタウンまちづくり事業(全市展開の推進と活動メニューの充実)		○			環境局環境保全部地球環境課	エコタウンまちづくり110地区	エコタウンまちづくりの全市展開	
・KOBENV環境大学、親子向け自然体験学習講座の開催		○			環境局環境保全部地球環境課	環境大学、こうべエコちゃれゼミ	環境大学、こうべエコちゃれゼミ	
・市民・事業者の行動指針の作成・普及			○		環境局環境保全部自然環境共生課	リーフレット等による啓発	リーフレット等による啓発	
・しあわせの村(シルバーカレッジ)などと連携した生物多様性に関する人材育成			○		環境局環境保全部地球環境課	情報交換、イベント広報協力(生物多様性シンポジウム開催)	情報交換、イベント広報協力	
・小学校での環境体験事業の継続実施		○			教育委員会事務局指導部指導課	環境体験事業	環境体験事業	
・ウミガメエコツアーズム		○			みなと総局技術部計画課・空港事業室推進課	神戸空港西緑地にて実施	神戸空港西緑地にて実施	
・市民参加の森づくり(こうべ森の学校、摩耶の森クラブ)		○			建設局公園部森林整備事務所	こうべ森の学校 こうべ森の小学校 摩耶の森クラブ	こうべ森の学校 こうべ森の小学校 摩耶の森クラブ	
・下水処理水を利用した親水空間での観察会等の実施		○			建設局下水道部計画課	処理水を活用した観察会等	処理水を活用した観察会等	
・動物園・水族園・植物園等での生物多様性に関する教育・啓発事業の展開		○			建設局王子動物園、森林植物園、須磨海浜水族園	ジャイアントパンダ日中共同研究、アムールトラ種別調整、傷病野生鳥獣の救護、教育普及活動、希少淡水魚の保護事業、生物多様性展など	ジャイアントパンダ日中共同研究、アムールトラ種別調整、傷病野生鳥獣の救護、教育普及活動、希少淡水魚の保護事業、生物多様性展など	

目標⑥:震災復興と共に立ち上がった市民の環を拡げ、市民・企業・市民団体・行政など、すべての主体がパートナーとして手を取り合い、未来を考えて行動します。

事業	重点事業	着手・拡充時期(*)			所管	平成26年度実績	平成27年度予定	備考
		継続	短期	中長期				
・市民団体等と企業、行政をつなぐ生物多様性プラットフォームの構築	○		○		環境局環境保全部自然環境共生課	利用拡充	利用拡充	
・パートナーシップ活動助成		○			市民参画推進局参画推進部市民協働推進課	一般助成:4団体、団体希望助成1団体、被災地支援:7団体、復興まちづくり学1団体	一般助成、テーマ別助成、団体希望助成、被災地等支援助成	
・各区の地域提案型活動助成		○			各区まちづくり推進部まちづくり課・まちづくり推進課	市民団体等へ助成	市民団体等へ助成	
・都市公園における自然維持保全活動		○			建設局公園部管理課	地域活動支援	地域活動支援	
・里山保全活動、河川愛護活動、市民の水辺事業の支援		○			環境局環境保全部地球環境課、建設局防災部河川課	河川愛護団体支援、水辺団体助成	河川愛護団体支援、水辺団体助成	
・市民団体等との協働による生物多様性保全推進モデル事業の実施		○	○	○	環境局環境保全部自然環境共生課	不耕作地の湿地環境再生	不耕作地の湿地環境再生	

目標⑦:神戸の生物多様性に関する情報を、市民の共有財産として収集・蓄積し、保全に活かします。

事業	重点 事業	着手・拡充時期(*)			所 管	平成26年度実績	平成27年度予定	備 考
		継続	短期	中長期				
・市民参加型生物多様性モニタリングプロジェクト	○		○	○	環境局環境保全部自然環境共生課	広報、評価委員会の開催等	広報、評価委員会の開催等	
・神戸版レッドデータの活用・定期的更新		○	○	○	環境局環境保全部自然環境共生課	レッドデータフォローアップ調査	レッドデータフォローアップ調査、レッドデータ改定作業	
・外来生物リスト・対策マニュアルなどによる情報提供		○	○		環境局環境保全部自然環境共生課	HP等での広報・啓発	市民等による外来生物モニタリング、シンポジウム開催	
・生物多様性WebGISの整備・運用		○	○		環境局環境保全部自然環境共生課	生きものマップの活用	生きものマップの活用	

(\*) 着手・拡充時期 短期:概ね3～5年 中長期:概ね5～10年

(\*\*)★ 神戸市環境基本計画(平成23年2月策定)の先導的な取り組み

生物多様性 神戸プラン2020に定める数値指標の達成状況

	指標・目標	何を把握するための指標か	指標の調査方法、評価期間	平成25年度(2013年度)実績	平成26年度(2014年度)実績
1	<b>今見られない神戸の生きものの種数</b> 〔現状〕49種 〔目標〕これ以上増やさない【2020年】	・希少種の生息・生育環境の状況 ・種の多様性	・神戸版レッドデータ2010フォローアップ調査、みんなでつくるKOBES生きものマップなど ・概ね5年ごと	今見られないとされていた希少種1種を再確認 ・アイナエ	(レッドデータ改定作業中)
2	<b>市民参加型生物多様性モニタリングの生きもの確認種数</b> 〔目標〕4,000種(累計) 【2015年】	・希少種・外来種・指標種等の生息・生育状況 ・種の多様性	・モニタリングの実績値(環境局調査) ・毎年	1761種(累計)	2920種(累計)
3	<b>水生生物の確認種数</b> 〔目標〕中長期的に見て種数を減少させない【2020年】	・海・河川の種の多様性 ・種数の中長期的な増減傾向など	・水生生物・藻場育成調査(環境局) ・毎年～4年ごと	神戸海域 ・魚類34種(21年度21種) ・メガロベントス24種(21年度26種) ・水生小動物122種(21年度122種) ・付着藻類43種(21年度40種)	都市河川10点 ・魚類18種(22年度14種) ・水生小動物90種(22年度99種) ・付着藻類109種(22年度113種)
4	<b>生物多様性に関する市民(20歳以上)の認知度</b> 〔現状〕 言葉を知っている67.8% 意味も知っている33.0% 〔目標〕 言葉を知っている100% 意味も知っている60% 【2020年】	・市民の意識(生物多様性の浸透度)	・アンケート調査(市政アドバイザー、市民1万人アンケートの活用など) ・概ね2年に1回	・言葉を知っている75% ・意味も知っている43%	・言葉を知っている63% ・意味も知っている29%
5	<b>生物多様性保全方針などの方針を定めて取り組んでいる企業の数</b> 〔現状〕3社 〔目標〕30社【2020年】	・事業者の意識、取組状況	・グリーンカンパニーネットワーク参加企業へのアンケート調査(環境局)など ・概ね2年に1回	25社	30社
6	<b>森林の間伐等保全・育成面積(市有林)</b> 〔現状〕30～50ha/年(人工林の間伐) 〔目標〕150ha/年【2015年】※	・森林の管理状況	・建設局調査 ・毎年	31ha/年	※
7	<b>持続性のある緑地の面積(市街化調整区域における「みどりの聖域」や「人と自然との共生ゾーン」等における主に地域制緑地と、市街化区域における公園緑地等と施設緑地の総和)</b> 〔現状〕35,000ha 〔目標〕35,000ha以上【2025年】	・森林、田園、市街地などを含めた市域の緑地の総和	・建設局調査 ・毎年	約35,000ha	約35,000ha
8	<b>耕地利用率(延作付面積/耕地面積)</b> 〔現状〕76.9% 〔目標〕78%【2015年】	・保管理田や休耕地などの耕作されていない農地の解消	・産業振興局調査 ・毎年	73.7%	(8月頃確定)
9	<b>こうべ版GAPに取り組む農家の登録人数</b> 〔現状〕282人 〔目標〕350人【2015年】	食の安全・安心の取り組み状況	・産業振興局調査 ・毎年	393人	492人
10	<b>新たな栽培試験の魚種数</b> 〔目標〕3種【2015年】	・つくり・育てる漁業の取り組み状況	・産業振興局調査 ・毎年	1種	1種
11	<b>まち中における緑の面積の割合(市街化区域における緑で被われた面積の割合)</b> 〔現状〕3割 〔目標〕3割以上【2025年】	・市街地の緑地の状況	・建設局調査 ・概ね5年ごと	(32.9%【2005年】)	

※平成25年度の2015ビジョンの見直しにより、目標が数値ではなく、「補助事業による人工林整備の継続実施」、「二次林整備等での補助事業の導入、市有林での二次林整備の継続実施」に変更されました。